

報道関係者各位

2018年4月27日

ベトナム語仕様の安全教育アプリ「建設版ハザードタッチ®」導入 ベトナム人技能実習生向けに(独)労働安全衛生総合研究所と共同開発

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所※1(以下、同研究所)と、ベトナム語仕様のiPad用アプリ「建設版ハザードタッチ®」の開発を共同で行うことを決定しました。

本アプリは、危険予知トレーニングができる建設作業員向けの安全教育ツールで、5月22日より全国22会場で順次開催される、ベトナム人技能実習生向け安全研修を皮切りに、全国の建築現場で導入予定です。

※1 厚生労働省所管の独立行政法人労働者健康安全機構におかれた研究所で、国内唯一の「産業安全及び労働衛生」分野における総合的研究機関。事業場における災害の予防並びに労働者の健康の保持増進、及び、職業性疾病の病因、診断、予防その他の職業性疾病に係る事項に関する総合的な調査及び研究を行うことにより、職場における労働者の安全及び健康の確保に資することを目的としている。

■「建設版ハザードタッチ®」とは

タブレット端末を利用した危険感受性向上のための教育アプリで、危険な作業や状況とはどのようなものか、直感的に理解するために活用します。また、実施記録が残るため、傾向と対策の分析が可能になります。

今後は、ベトナム語以外の言語の開発も進め、作業員の多国籍化に幅広く対応していきます。

■「建設版ハザードタッチ®」の特徴

本ツールは、タブレット画面上に表示される4つの写真の中に一つだけ含まれる危険な行動や状態を、素早く見つけタッチするというもので、正誤結果に加え、どこにどんな問題があるのかを解説する画面も表示されます。

外部足場や脚立上での作業、電動丸ノコや自動釘打ち機を使った作業など複数のシナリオがあり、当社の主力工法、2×4工法向けのオリジナルシナリオも開発予定です。

尚、本ツールはタブレット端末を使用することで、一人でも繰り返しトレーニングを実施できるうえ、遠隔地からも実施状況を把握できるようになります。

【トレーニング画面イメージ】



説明文が表示されます。



事前に表示された作業状況の説明をもとに、危険な状況の画像を選んでタッチします。



正誤結果と解説が表示されます。

■「建設版ハザードタッチ®」を活用しベトナム人技能実習生向け安全研修を全国22会場で開催

当社では、現在348人※2のベトナム人技能実習生を受け入れています。2018年度は新たに、ベトナム人技能実習生向けの安全研修を全国22会場で開催します。

この研修で、全実習生に本ツールを活用した安全教育を実施するとともに、現場においても、いつでも繰り返し実施できる環境を整え、危険を察知する力を育む安全教育を強化します。

※2 2018年4月27日時点

本リリースに記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174